

# クリスタルケーブルの最上位シリーズ 「MONOCRYSTAL」が ついに日本に上陸!



Crystal Cable代表  
Gabi Rijnveld氏

ちなみに日本でも認知度のある  
「MONOCRYSTAL」は、ガビさん  
の夫が創設者であり、アーネムに  
ある本社やオランダのエルストに  
ある工場、製造チームを共有して  
いる。エルストという町は、アム  
ステルダムから100kmほどの距  
離にあるという。現在従業員は18  
人とのことだ。もちろん、開発に  
は入念な研究と試作、そして測定  
と試聴が施され、長い時間をかけ  
て完成まで至っている。さらに自  
社製品ばかりでなく、その他のオ  
ーディオブランドに向けたOEM  
も多数行っているという。

さて現在クリスタルケーブルは、  
2つのシリーズを核にしている。  
すでに日本でも紹介されていた「D  
IAMOND」シリーズは、導体  
のメイン素材に純度の高い銀を使  
用。複数の銀の導体同士が接触す  
るような構造になっているが、ど  
んなに純度が高くても球状態の導  
体同士が接触する状態になるため  
隙間ができる。ちょうど水が流れ  
る川に石がある状態と同じで、信  
号がスムーズに流れずに音質劣化

●ブランドの概要を知る  
オランダで2004年に創立  
しなやかで美しい外観が特徴  
ゼフアンがケーブルブランド「C  
rystal Cable (クリ  
スタルケーブル)」の取り扱いを  
3月から開始した。今回取り扱い  
が変更となつたのを機に、従来の  
「DIAMOND」シリーズに加え、  
これまで日本市場には輸入が行わ  
れていなかつた最新のハイエンド  
ライン、「MONOCRYSTA  
L」シリーズも展開されることに  
なつた。

まず簡単にブランドの概要を紹  
介しよう。クリスタルケーブル社  
は本社をオランダに構えるハイエ  
ンドケーブルメーカーで、200  
4年に創立。代表を務めるのはG  
abi Rijnveld (ガビ・  
ラインベルト) 氏である。すでに  
世界50カ国以上の販売実績を持  
ち、多くの録音スタジオへの導入  
も進んでいる。設立者のガビ氏は  
以前、コンサートピアニストとし  
て、世界中(日本も含む)で演奏  
をしてきたという。現在はその音  
楽性をベースにし、自身の情熱を  
ハイエンドオーディオに注ぎ込み、  
クリスタルケーブルの優れた製品  
を生み出し、人々を魅了している。  
ピアニストとしての音楽才能と革  
新的なテクノロジーの見事な融合  
と共に、高い技術に裏付けられた、  
細くしなやかで美しいケーブル群  
が、同社の特徴。太く大柄な製品  
が多いハイエンドケーブルとは異  
なつた、クリスタルケーブル独自  
の優位点を持つている。

●独自技術とラインアップ  
「DIAMOND」シリーズを発売

希少な単一結晶銀を新たに開発  
フラッグシップシリーズを投入

さて現在クリスタルケーブルは、  
2つのシリーズを核にしている。  
すでに日本でも紹介されていた「D  
IAMOND」シリーズは、導体  
のメイン素材に純度の高い銀を使  
用。複数の銀の導体同士が接触す  
るような構造になっているが、ど  
んなに純度が高くても球状態の導  
体同士が接触する状態になるため  
隙間ができる。ちょうど水が流れ  
る川に石がある状態と同じで、信  
号がスムーズに流れずに音質劣化

の原因になる、と考えたのである。  
ガビ氏は「よく銀製のケーブルは  
シャープな音がすると言われるが、  
それはこの隙間の影響によるもの」  
と言っている。この問題を解決す  
るために開発されたのが、200  
0年以前に独自技術により開発さ  
れた銀と金の合金導体(「シルバ  
ー」「ゴールド導体」)だ。これにより  
隙間は金で埋められて、信号が流  
れやすくなり、鋭い音が消えると  
のことである。この技術により「D  
IAMOND」シリーズが登場す  
ることになった。なお、同社のケ  
ーブルは全てコアキシャル設計と  
なっていることも特徴だ。

つたのが「MONOCRYSTA  
L」シリーズ。特徴は、中心導体  
に単一結晶銀(モノクリスタルシ  
ルバー)を採用していること。こ  
れにより、原子が四角くなり隙間  
は発生しなくなる。そのため、よ  
り信号が流れやすくなり、かつて  
ないクリアなサウンドとなるとい  
う。モノクリスタルシルバーは、  
まったく振動しないオープンで固  
化させる時に、徹底して歪みがな  
く、一切の温度差がない環境でし

## BEST HiFi Accessory

2108 SUMMER

**Profile** オランダのハイエンドケーブルブランド「クリスタルケーブル」の輸入販売元が、この程変更になり、(株)ゼファンでの取り扱いとなった。それに伴い、従来から導入されていた「DIAMOND」シリーズに加え、最新のフラッグシップ「MONOCRYSTAL」シリーズが、日本市場に投入されることになった。3月に「クリスタルケーブル」の代表であるガビ・ラインベルト氏が来日し、福田雅光氏に直接概要を説明を行ってくれた。ここでは「クリスタルケーブル」の特徴と共に、最新モデルの試聴レポートをお届けしたい。

TEXT by  
福田雅光  
Masamitsu Fukuda  
Photo by 田代法生

## Crystal Cable Crystal Connect Absolute Dream

XLRインターフェクトケーブル  
¥1,880,000(1mペア・税別)  
\*+0.5m追加で¥680,000(税別)  
RCAタイプも用意(同価格)

### Specifications

- 構造:4芯同軸タイプ ●導体:モノクリスタルシルバーコア
- 絶縁:カブトン(2層)+PEEK被覆
- シールド:銀メッキモノクリスタル銅+金メッキモノクリスタル単結晶銀の2層シールド ●シース:透明スリーブ
- 取り扱い:(株)ゼファン

## Crystal Cable Crystal Speak Absolute Dream

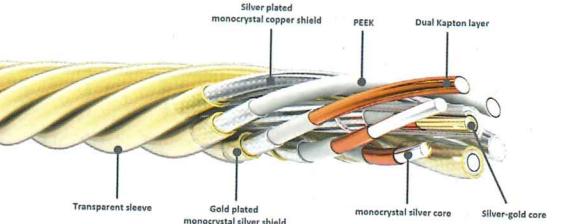
スピーカーケーブル  
(¥4,100,000・2mペア・シングルワイヤ)  
\*+0.5m追加で¥675,000(税別)



つて1/100秒単位の完全に同じタイミングで冷凍されて完成するが、そのため現在は研究開発をしている大学内でしかできない希少なものという。価格が高くなるのもそのせいである。

本ケーブルの構造は、構造図をご覧いただきたいが、1本のケーブルに、このモノクリスタルシルバー・コアに2層のカプトンで絶縁し、損失が限りなく小さいP.E.E.K（ポリエーテルエーテルケトン）を被覆することで最小限の絶縁体で優れた機械特性を得る。さらに、信号を外部ノイズから保護するために外周を、極細の銀メッキされ

### ◆「MONOCRYSTAL」シリーズの構造



「Ultimate Dream」の電源ケーブルのもの

### ■「MONOCRYSTAL」シリーズ3ラインの構造

\*価格はいずれも税別

①「Dreamline Plus」



インターフェクトケーブル(¥1,050,000・1mペア)、スピーカーケーブル(¥2,230,000・2mペア)、電源ケーブル(¥570,000・1m)のほかデジタルケーブル、フォノケーブル、ジャンパーケーブルを用意

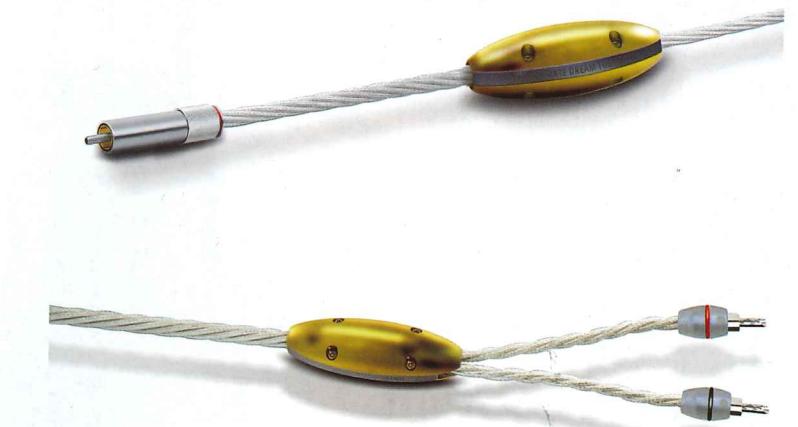
③「Ultimate Dream」



②「Absolute Dream」



インターフェクトケーブル(¥1,880,000・1mペア)、スピーカーケーブル(¥4,100,000・2mペア・シングルワイヤ/¥4,200,000・2mペア・バイワイヤ)、電源ケーブル(¥1,050,000・1m)のほかデジタルケーブル、フォノケーブル、ジャンパーケーブルを用意



インターフェクトケーブル(¥3,150,000・1mペア)、スピーカーケーブル(¥6,100,000・2mペア・シングルワイヤ)、電源ケーブル(¥1,800,000・1m)のほかデジタルケーブル、ジャンパーケーブルを用意



「Ultimate Dream」シリーズの主要ケーブル

「MONOCRYSTAL」シリーズのケーブルに付属する中間のブロックは、シリアルナンバーを印字したり、スピーカーケーブルの場合はつなぎ目を隠すため、振動防止の効果を持つものではないという

確かに高価だが経験したことのない未知の表現力を持ちスピーカーの限界を超えて音楽を体験することができた

た単結晶銅と金メッキされた単結晶銅という異なる2つの素材で2層シールドするという入念な構造となっている。ポイントは導体がいずれも単結晶ということである。

この単体ケーブルを2本撲るのが「ドリームラインプラス」、4本撲るのが「アブソリュートドリーム」、軸に最適な素材を用いて6本撲るのが最高峰の「アルティメイトドリーム」である。ちなみに「MONOCRYSTAL」シリーズは、2013年発売の「アブソリュートドリーム」からスタートし、順次ラインアップを拡充してきた。

●「MONOCRYSTAL」の音に触れる凄まじい音のパワーが全域で弾け切りその高密度の音の威勢のよさに驚嘆

さて、今回はこの「MONOCRYSTAL」シリーズの中位モデルである「アブソリュートドリーム」の、XLRインターロケ

クトケーブルとスピーカーケーブルを自宅にて試聴。両ケーブル共、6本の単体ケーブルの撲る中心軸の素材として、テフロンワイヤーが採用されている。

まずインタークネクトケーブルを、プリアンプとパワーアンプ間に接続して試聴した。高速にして高純度、明確に立ち上がるレスポンスは潤いに溢れ、艶やかで汚れのない音質で、純粋にして高度な描写力を学んできたかのような自信にあふれていた。その性質はやや明るく、しかし、音の密度の高さは、まさに熟練した技で丹念に磨かれた世界のものだ。女性ヴォーカルは極めて抜けが良く、音像が浮かび、定位すると匂い立つ香りを感じさせる。トーンバランスは高域の繊細性を美しくなめらかな解像力で構成し、低音の馬力は、初期ではまだ十分とはいえないが、バランスは偏ることはない。そして試聴を始めて1時間後、多少音がほぐれて甘くなってきて、さら

に上質な音で魅力は継続している。

さらに、このシステムにスピーカーケーブルを追加して、レフアレンスのスピーカーケーブルを変更すると、中低域の深みが強化さ

れ重心の低いバランスに変化、透明度の高い音質で奥行きが出てくる。一聴、悪くはないが、感動するところまではない。

ところが、事件は約1時間後に起きた。俄然スピードを強化したレスポンスと音の力。ぐんとエネルギーがほとばしるようになる。ヴォーカルも繊細にして広帯域で解像度が高く、ニュアンスはすつきりと伸びきる。凄まじい音のパワーが全域で弾け切り、低音の力も強力なダンピングとなり、その高密度の音は、まるで全てが突進して進軍ラップを吹きまくるような威勢のよさだ。

ケーブルで、こんな世界があつていいのだろうか。という驚きを感じる。本モデルの価格は、とてもないものだが、これまでに経験したことのない未知の表現力を持つていた。まるで、スピーカーの限界をケーブルが超越し、音はまさしく、音楽を表現しているようではないか。どちらが主役なの

か、この音はスピーカーのサウンドというより、まさにケーブルの音に支配されてしまったといえるだろう。驚きのケーブル体験であった。

### ◆ガビ・ラインベルト氏×福田雅光氏

福田 オーディオメーカーでは、ケーブルはあまり重視しないことが多いですが。

ガビ 多くの方は、ケーブルはさほど重要でないとみているのではないでしょうか。実際ケーブルは最も重要なコンポーネントです。ケーブルがなければそもそも音は出ません。良質なケーブルを使うことで、皆さまがお持ちのシステムの能力を最大限引き出すことができます。たとえフェラリーリを持っていても、イヤホンが安物では、フェラリーリの走りは実現できません。それと同じように、ケーブルによって初めてそのポテンシャルを引き出せるのです。

福田 その通りですよね。さて「MONOCRYSTAL」シリーズの目指した音の方向性は?

ガビ 私はミュージシャンなので音楽的でニュートラルな音を好みます。詳細は表現したいし、透明性のあるサウンドが理想です。だから全ての構造がコアキシャル(同軸)で、すごく早く、直接的でニュートラルな音。音楽は美しく書かれているので、私も譜面と観客の間の存在だと思います。ケーブルも同じ。音楽と聴いている方をつなげるものなのです。ケーブル自体は色味を足してはいけないと考えています。

福田 日本のファンや市場をどうお考えですか?

ガビ 日本のオーディオメーカーは非常に正確で細部にこだわると思っています。また、日本は音楽愛好家が多いですね。日本でピアニストとしてコンサートもした時に、それを強く感じました。私の願いはこのケーブルが音楽と試聴者の間を繋いで、ライヴな演奏が人々のリビングルームに届くことを願っています。いまは技術的なものに携わっていますが、もともとは音楽家です。日本のカスタマーにもステージの生演奏の感動が届くことを願っています。それが私たちのミッションなのです。

